令和4年度児童生徒仲良しコミュニケーション活動奨励事業

どさんこ☆子ども地区会議概要

令和４年 11 月　北海道教育庁空知教育局

令和４年10月22日（土）、管内の小・中・高等学校をオンラインで結び、「どさんこ☆子ども地区会議」を開催しました。会議には、小・中・高等学校 41校から97 名の児童生徒が参加し、協議テーマ「いじめのない学校を目指して～誰もが嫌な思いをしない学校のためにできること～」について、校種混合のグループに分かれて、話し合いました。その後、各グループで考えた「誰もが気持ちよく過ごすことのできる学校」をつくるためにできることについて発表・交流しました。参加した児童生徒は、様々な参加者の考えに触れることで、自校での取組を見つめ直す貴重な時間となりました。

■「誰もが気持ちよく過ごすことのできる学校」をつくるためにできること

☆グループ１
「明るく誰もが話しかけやすい雰囲気の学校」にするため、みんなが休み時間などに積極的にコミュニケーションを取り、多くの人と関わっていくこと。

☆グループ２
「みんながコミュニケーションを気軽に取ることのできる学校」にするため、全校生徒が日常生活から笑顔で挨拶をしたり、相手の話をしっかり聞いてあげたりして、協調性をもって過ごすこと。

☆グループ３
「みんなと気軽にコミュニケーションが取れ、挨拶が飛び交う優しい雰囲気の学校」にするため、みんなが気持ちよく過ごすための挨拶運動や、上級生が下級生の面倒をみる異学年交流を積極的に行い、お互いを思いやる気持ちをもつこと。

☆グループ４
「学年に関係なく会話が弾む学校」にするため、上級生が下級生に優しくし、また、行事などの場面でも、みんなが楽しく交流することのできるように、お互いの考えを言えるような雰囲気をつくること。

☆グループ５
「安心感があり、話しかけやすい雰囲気の学校」にするため、先生と児童生徒全員が、いつでも積極的に自分から声をかけ合うこと。

☆グループ６
「自分が出しやすい雰囲気の学校」にするため、自分たちが他の人の意見や話を聞く時は、自分の考えと違っていも、否定せずに認めること。

☆グループ７
「学年に関係なく温かい雰囲気の学校」にするため、先生による教育相談や、児童生徒による挨拶やコミュニケーションや挨拶を積極的にし、日常生活から相手の変化にいち早く気づいてあげること。

☆グループ８
「誰にでも気軽に相談することのできる学校」にするため、先生や児童生徒が心を込めて挨拶を行い、お互いを認め合うことを心がけて、積極的にコミュニケーションを取っていくこと。

☆グループ９
「友だちや相手のことを気遣い、お互いに話しかけやすい雰囲気の学校」にするため、児童生徒や先生が、日頃から周りのことを気にかけ、挨拶や相談をしやすい環境を作ること。

＜参加校＞
南幌町立南幌小学校
上砂川町立中央小学校
栗山町立栗山小学校
新十津川町立新十津川小学校
秩父別町立秩父別小学校
岩見沢市立幌向小学校
夕張市立ゆうばり小学校
美唄市立中央小学校
三笠市立三笠小学校
滝川市立西小学校
砂川市立北光小学校
深川市立北新小学校
三笠市立岡山小学校
南幌町立南幌中学校
奈井江町立奈井江中学校
上砂川町立上砂川中学校
由仁町立由仁中学校
長沼町立長沼中学校
栗山町立栗山中学校
月形町立月形中学校
浦臼町立浦臼中学校
秩父別町立秩父別中学校
新十津川町立新十津川中学校
北竜町立北竜中学校
沼田町立沼田中学校
夕張市立夕張中学校
芦別市立啓成中学校
芦別市立芦別中学校
赤平市立赤平中学校
滝川市立開西中学校
砂川市立砂川中学校
深川市立一已中学校
歌志内市立歌志内学園
北海道岩見沢西高等学校
北海道岩見沢農業高等学校
北海道滝川高等学校
北海道滝川工業高等学校
北海道深川東高等学校
北海道深川西高等学校
北海道長沼高等学校
北海道月形高等学校